



J1100

GPS and MOTION Sensing System



傾斜角
加減速G値
GPS速度
GPS トレース

ユーザーマニュアル

SpeedAngle Inc.

www.speedangle.com

目次

1. GMOS JI100 について	1
パッケージの内包物リスト.....	1
GMOS 機能紹介.....	2
GMOS 外観説明.....	3
本体の外観.....	3
正面.....	3
側面.....	4
背面.....	4
センサー概要.....	5
2. GMOS の操作	6
GMOS の設置.....	6
本体の設置.....	6
センサーの設置:ガイドライン.....	6
センサーの設置:標準設置方法.....	7
ネジ固定台座を使用する.....	7
テープ固定台座を使用する.....	9
センサーの設置:その他.....	9
設置確認リスト.....	10
本体をセンサーと接続する.....	10
GMOS を起動させる.....	11
起動画面.....	11
安全責任画面.....	11
メイン画面.....	12

GPS アンテナ	12
記録モード.....	13
リアルタイム速度	14
温度アラーム.....	14
バッテリー	14
時刻.....	14
加減速 G 値ゲージ.....	15
最新傾斜角記録	15
最大右傾斜角.....	15
最大左傾斜角.....	15
傾斜角メーター.....	15
リアルタイム傾斜角.....	16
メッセージエリア.....	16
POSITIONING.....	16
MEMORY FULL	16
999 LOGS	17
最高時速	17
システムメニューとメッセージ画面	18
システムメニュー	18
最大角度と最高時速のリセット.....	18
角度アラームの設定	19
タイムゾーンの設定	19
キロメートル、マイル切換	20
メモリーのクリア	20
設定の保存	21

メッセージ画面	22
LOW BATTERY	22
PLEASE CONNECT SENSOR	22
USB CONNECTED.....	22
PLEASE TURN ON THE POWER.....	22
GMOS を PC に接続する	23
3. トラブルシューティング	26
4. 品質保証	28
5. 仕様	30

1

GMOS JI100について

パッケージの内包物リスト

この度は GMOS をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。当パッケージには以下のアイテムが含まれております。

- GMOS 本体
- GMOS センサー
- センサーのネジ固定台座
- センサーのテープ固定台座
- 六角ネジレンチ
- 電池
- 充電器
- 変圧器
- USB ケーブル
- ソフトウェア CD
- GMOS クイックリファレンス
- GMOS JI100 ユーザーマニュアル
- GMOS VR ソフトウェアユーザーマニュアル

万が一、パッケージの内包物に不足がありましたら、販売代理店へお問い合わせください。直接、www.speedangle.comにてご購入されました場合は、custserv@speedangle.comまでご連絡ください。その際、一緒に本体の登録番号（registraton number）をお知らせください。本体の登録番号（registraton number）は、本体背部シール及び GMOS の起動画面をご参照ください。

GMOS 機能紹介

GMOS は、オートバイのモーション機能を感じ取るために設計された先端テクノロジー製品です。GMOS は航空及びミサイルナビゲーションの最新技術及び処理アルゴリズムを用いており、さらに GPS テクノロジーが結合されています。このため、以下のオートバイ機能について、感知、計算、記録を行うことができます。

- リアルタイムの傾斜角(最大 69 度)
- 最大左右傾斜角
- 最新傾斜角記録(3 つまで、随時更新)
- リアルタイムの加減速 G 値(最大 1G)
- リアルタイムの GPS 速度(最高時速 410 キロメートル)
- 最高 GPS 時速
- GPS トレース

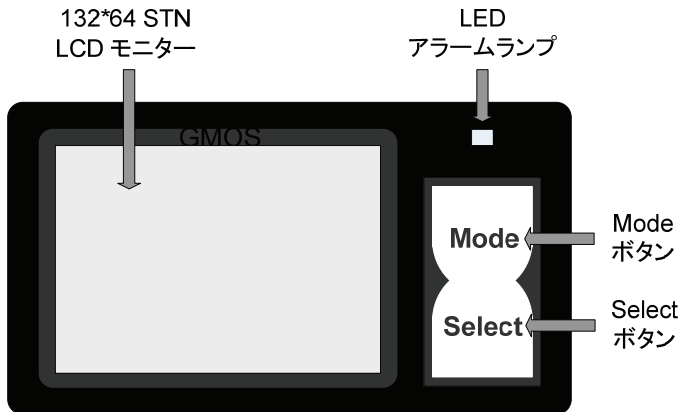
これらの感知記録の動態データは、GMOS に内蔵されているメモリに保存され、最大 16 時間分または 999 トレースファイル分のデータを保存することができます。また走行後は、USB ケーブルで GMOS を PC に接続し、記録ファイルをダウンロードすることができます。GMOS に内包されている GMOS VR ソフトウェアは簡単に使用でき、走行データを PC に再現します。また1つ以上のデータをインプットしたり、ファイルを開いて以前のデータを探し出し、走行パフォーマンスを比較分析することもできます。さらには別のオートバイ走行ファイルをインプットし、PC 上でバーチャルレースを行うこともできます。

GMOS 外観説明

GMOS には 2 つのメインモジュール、本体とセンサーが含まれています。本体機能は、GPS シグナルの受信、センサーから伝送されたデータの計算処理及び受信、PC との連絡作業といった大部分の作業を包括しています。一方、センサー機能は、傾斜角や加減速 G 値といったオートバイのモーションデータの感知です。以下、本体及びセンサーの外観を説明いたします。

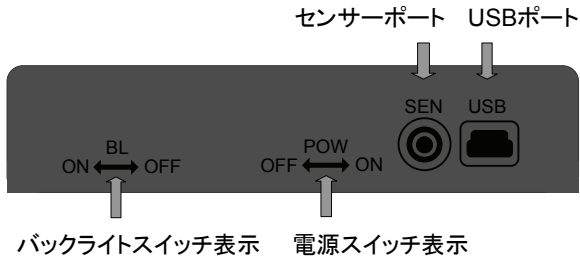
本体の外観

正面:



LCD モニター	GMOS の機能と感知データを表示します。
LED アラームランプ	車両の傾斜が設定のアラーム角度をオーバーした場合、アラームが点滅します。
Mode ボタン	機能を切り替えます。
Select ボタン	記録ファイルや執行を選択する機能です。

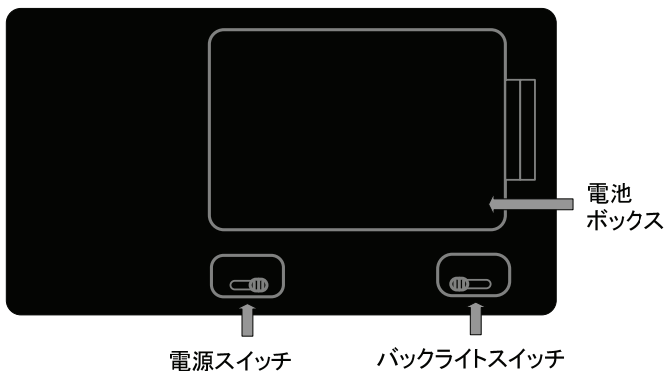
側面:



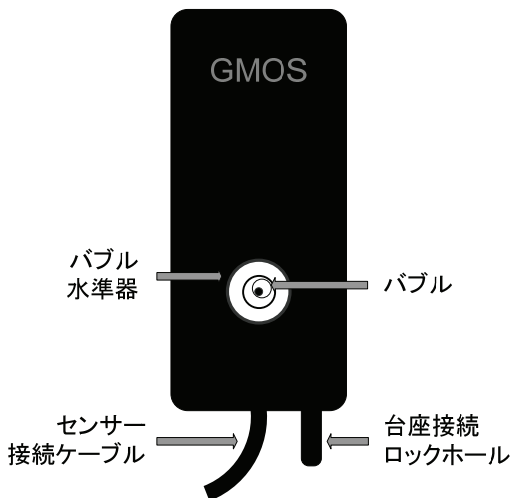
警告: GMOS本体の損傷を避けるため、その他装置をセンサーポートに差し込まないでください。

警告: まずセンサーの接続ケーブルを本体のセンサーポートに差し込んでから機体の電源をオンにしてください。また、本体のダメージを避けるため、本体の電源をオフにしてから、センサーを抜いてください。本体の電源がオンの時、不注意でセンサーの接続ケーブルを抜いてしまった場合、まず本体の電源をオフにしてからセンサーを再接続し、それから本体の電源をオンにしてください。

背面:



センサー概要



警告: センサーのダメージを避けるため、センサーをその他装置に接続させないでください。

注意: 静電気によるセンサーの損傷を避けるため、手でセンサー接続頭部の金属部分に触らないでください。

2

GMOS の操作

GMOS の設置

本体及びセンサーの設置は非常に簡単で、穴を開けたり、ケーブルを接続する必要もありません。設置後は、下記の説明に従って上下左右、センサーを調整ください。完了後、すぐに路上でご使用いただけます。

本体の設置

GMOS 本体の形状はシンプルな長方形で、市販のカーナビゲーションのどのような固定台座でもご使用いただくことができます。安定して固定させれば完成です。また、www.speedangle.comにて推奨される固定台座をご確認いただけます。

センサーの設置:ガイドライン

GMOS はオートバイの 3 つの空間モーションを感知します。よって、上下左右と全てにおいて正確な位置合わせが求められます。正確な感知結果を得るために、以下の設置ルールを厳守ください。

1. センサーは必ず水平に設置ください。

センサー設置後、上下傾斜がある場合、角度、加減速の感知に影響を与えます。

2. センサーの最良な設置位置は、オートバイの質量中心付近、つまりガソリンタンクの上部です。

GMOS のセンサーは振動に非常に敏感です。これらの振動は、路面の振動、タイヤ、車両のメンテナンス状況、サスペンスの設定、不安定な設置、エンジン本体の振動などからもたらされます。GMOS センサーには振動濾過器が配備されてお

りますが、振動が非常に大きい場合、角度や加減速の感知に影響を及ぼす場合があります。

振動による感知への影響を回避するため、センサーをオートバイの質量中心付近、つまりガソリタンク上、最良の場所としてはガソリタンクのキャップカバー上への設置を強くお勧めいたします。

3. センサーは必ず車体の縦中央線に一直線上或いは平行に置き、且つ縦中央線に近ければ近いほど良いです。

センサーの設置に最適な場所は、車体の縦中央線上、且つ縦中央線の一直線上に設置することです。縦中央線に設置できない場合、できるだけ縦中央線に近づけ、且つセンサーと縦中央線を平行にしてください。センサーが車両の縦中央線に一直線上或いは平行に置かない場合、角度感知に影響を及ぼします。縦中央線から離れるほど、振動の影響レベルは大きくなります。

4. 正しい設置後、まずオートバイに乗車し、最後の水平微調整を行ってください。

乗車後、水平面の変化によりセンサーのバランスが崩される状況を回避するためにも、オートバイが脚立で支えられている状態や後輪の支えで支えられている状態で、最後の水平微調整を行わないでください。調整の際、まずオートバイに乗車し、両足で車体を支えて、車体と地面を垂直にしてから、センサーの水平微調整を行ってください。

以上の4点に基づき、下記に標準的な設置方法を紹介いたします。

センサーの設置：標準設置方法

ネジ固定台座を使用する場合：

ネジ固定台座をガソリタンクのキャップカバーのネジ穴に設置する方法をお勧めいたします。

- まず、ネジでセンサー及びネジ固定台座を一緒に絞めてください。
- ガソリタンクキャップカバーの縦中央線上のネジを緩めてください。縦中央線上にネジがない場合、最も縦中央線に近いガソリタンクキャップカバーのネジを緩めてください。
- ネジを固定台座のネジ穴に置き、センサーが車体の縦中央線の前を指すよう一直線にしてください。センサーが縦中央線上に置かれていない場合、センサーを縦中央線と平行にしてください。
- キャップカバーのネジを締め、センサーをガソリタンクに固定させてください。



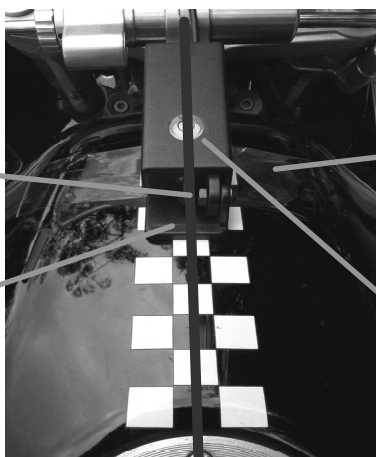
テープ固定台座を使用する場合:

車体にガソリンタンクキャップカバーがない場合、テープで台座を固定してセンサーを設置ください。

- まず、センサーと台座用ネジを一緒に締めてください。
- 台座をガソリンタンクの縦中央線上に置き、センサーが車体の縦中央線の前を指すよう一直線にしてください
- テープで台座をガソリンタンクに固定させてください。

1.センサーとネジ固定台座用ネジを一緒に締めてください。

2.センサーが前を指すように、ガソリンタンクの縦中央線上に置くと、縦中央線と平行にしてください。



3.テープで台座をガソリンタンクに固定してください。

4.車体に座って、センサーの上下を調整し、バブル水準器のバブルを中心圏内にもってきてください。

台座設置後、オートバイに座って再度センサーを上下調整し、バブル水準器のバブルを中心圏内にもってきてください。

センサーの設置:その他

センサーのガソリンタンク上ではなく、便利な場所に設置したい場合、必要に応じて選択したネジまたはテープで台座を固定させ、設置ルールに基づき設置してください。ハンドル、サスペンション、タイヤといった揺れるまたは回転するような場所には設置しないでください。また、排気管、エンジンといった温度がセンサー作動温度をオーバーす

るような場所にも設置しないでください。車体後尾は振動が大きいいため、設置しないことをお勧めいたします。

設置後、センサーが車体の縦中央線と一直線上または平行であるか、ご注意ください。同時に乗車後、センサーを上下調整し、バブルが水準器の中央圏内に位置するようにしてください。

設置確認リスト

センサー設置後、下記の確認リストを用いて設置に問題がないか、ご確認ください。

- センサーは振動が最も小さい場所に設置されているか？
- センサーの軸線はオートバイの縦中央線と一致しているか？またはオートバイの縦中央線と平行か？
- センサー上のバブルは水準器の中央圏内に位置しているか？
- センサーは堅く固定されているか？

本体をセンサーと接続する

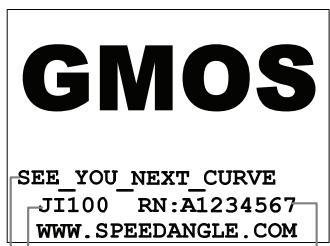
本体とセンサーを接続する際、まずセンサーの接続ケーブルのプラグを本体下部の SEN ポートに差し込んでから電源をオンにしてください。同様に、システム作動の安定性への影響を回避するために、本体の電源をまずオフにしてから、センサーの接続ケーブルを抜いてください。

センサーと本体の接続が確実でない場合、本体をオンにした後、メイン画面に入れず、「PLEASE CONNECT SENSOR(センサーに接続ください)」というメッセージが出現します。この場合、まず電源をオフにして、センサーの接続ケーブルを再度差し込んだ後、電源をオンにしてください。

電源がオンの際、センサーのプラグを強制的あるいは不注意で抜いてしまった場合、システムはシステムの安定性を保護するために、自動的に再起動します。この他、システムがメイン画面に入れない場合、「PLEASE CONNECT SENSOR(センサーに接続ください)」というメッセージが表示されます。この場合、まず電源をオフにして、センサーの接続ケーブルを再度差し込んだ後、電源をオンにしてください。

GMOS を起動させる

起動画面



GMOS型番 登録番号
ユーザー名

起動画面は電源を入れた後、目にする最初の画面です。画面上には、ユーザー名、GMOS 型番、登録番号が表示されます。ユーザー名は最大 22 文字でご自身で入力することができます。GMOS VR ユーザーマニュアルをご参照ください。

次の画面に進むためには、Mode または Select ボタンを押してください。

安全責任画面

THIS PRODUCT IS FOR
YOUR REFERENCE ONLY.
DO YOU AGREE TO RIDE
SAFELY AND BE SOLELY
RESPONSIBLE FOR ALL
OF YOUR ACTIONS WHEN
USING THIS DEVICE?
PRESS KEY TO AGREE.

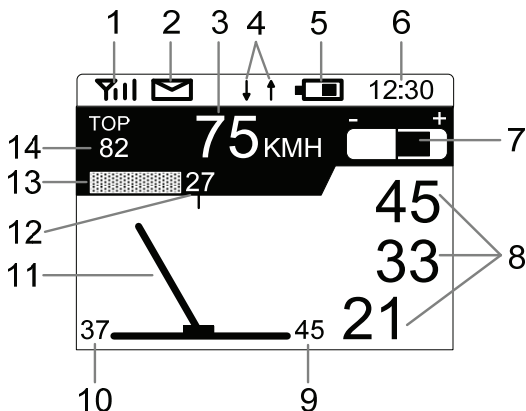
SpeedAngle Inc.はお客様のセキュリティを重視しております。GMOSを使用する際、安全運転に留意し、運転の全責任を負ってください。任意のボタンを押して、条項に同意を表示してください。同意後、メイン画面に進むことができます。

メイン画面

GMOS の感知機能が全てメイン画面に表示されます。メイン画面に入ると、路上走行時、GMOS は自動的に走行モーションデータを収集し、リアルタイム傾斜角、最大傾斜角、最新傾斜角(3つ)、リアルタイム加減速 G 値、リアルタイム GPS 時速、最高 GPS 時速、GPS トレースを計算、記録します。

走行データファイルを記録する場合、Select ボタンを押してください。記録を停止したい場合は、再度 Select ボタンを押せば停止となります。

下図は GMOS メイン画面です。



下記表は GMOS 各機能の説明です。

1	GPS アンテナ
	GPS シグナルの受信状況を表示します。直線が多ければ多いほど、シグナル受信状況が良好で、位置決め精度も高くなります。 <ul style="list-style-type: none">■ 衛星が必要な位置決め情報を提供できない場合、GPS アンテナアイコンが消えます。この時、Select を押すとトレースファイルの記録を開始します。そうしない場合、システムは記録モードに入りません。押すと

同時に、メッセージエリアに 2 秒間、「POSITIONING」(位置決め中)というメッセージが現れ、GMOS の GPS モジュールが衛星を探し続けます。一旦衛星が見つかると、GPS アンテナアイコンが再度表示されます。この時、Select を押すと記録を開始します。

2

記録モード

GMOS が記録モードになると、記録モードアイコンが出現して点滅を開始します。メモリ容量が残り約 50 分となった場合、点滅速度が加速します。一方、残り約 10 分となった場合、点滅速度が倍速します。メモリがデータでいっぱいになると、アイコンは点滅を停止します。

データの記録を開始する場合、Select ボタンを押してください。記録を停止する場合は、再度 Select ボタンを押してください。1 回の記録保存データは 1 つのトレースファイルとなります。GMOS のメモリは 16 時間分のデータ、または 999 のトレースファイルを収容できます。

- Select ボタンを押しても、記録モードアイコンが現れない場合、システムが記録モードになれないことを意味します。理由は、GPS モジュールがまだ位置を探している、メモリがフル、トレースファイルが 999 に達した、以上の 3 パターンが考えられます。詳細説明は、17 ページ、13 メッセージエリアをご参考ください。
- 記録中、メイン画面を離れても、記録は中断されません。
- 記録したトレースファイルは手動でのみクリアできます。つまり、記録中に不注意で本体の電源をオフにしても、記録したトレースファイルを失うことはありません。
- トレースファイルをクリアされたい場合、システムメニューで CLEAR MEMORY を選択するか、PC と接続して GMOS VR のトレースファイルクリア機能でクリアください。

3

リアルタイム速度

リアルタイムの GPS 速度を表示し、最高で時速 410 キロメートル(255 マイル)に達します。

- 速度の単位を MPH(マイル)または KMH(キロメートル)に切り替えた場合、システムメニューに入り、UNIT MPH/KMH を選択ください。
- GPS シグナルの受信が悪く、速度もとても遅い場合、受信の GPS 速度データにドリフトが発生します。

4

温度アラーム

環境温度が GMOS センサーの作動温度範囲(2°C ます ~ 60°C または 36°F ~ 140°F)より高いまたは低い場合、点滅します。↓ は環境温度が 2°C(36°F)より低いことを、↑ は環境温度 60°C(140°F)より高いことを意味します。

- 環境温度がセンサーの作動温度より高いまたは低い場合、感知精度に影響を及ぼす可能性があります。

5

バッテリー

電池の残量を示します。

- 電池の電量がほぼなくなった場合、システムは「LOW BATTERY!」(ローバッテリー)というメッセージを表示します。早めに充電または電池交換を行ってください。

6

時刻

設定したタイムゾーンの現在の時刻を表示します。

- タイムゾーンを設定したい場合、システムメニューへ入り、TIMEZONE GMT で調整ください。

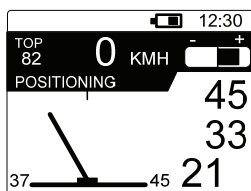
7	<p>加減速 G 値ゲージ</p> <p>リアルタイムな加減速の G 値(最大±1G)を表示します。中央線が右に延びると加速度強度を、左に伸びると減速強度を示します。</p>
8	<p>最新傾斜角記録</p> <p>最新の 3 つの傾斜角の記録をリストします。当記録は絶えず更新されます。右の数字は右傾斜角、左の数字は左傾斜角を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 傾斜角が 15 度またはそれ以下の場合、最新傾斜角記録にリストアップされません。
9	<p>最大右傾斜角</p> <p>今回起動後、システムが感知した中での最大右傾斜角を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 傾斜角が 15 度またはそれ以下の場合、最新傾斜角記録にリストアップされません。 ■ 記録を除去したい場合、システムメニューで RESET MAX ANGLE を選択してください。
10	<p>最大左傾斜角</p> <p>今回起動後、システムが感知した中での最大左傾斜角を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 傾斜角が 15 度またはそれ以下の場合、最新傾斜角記録にリストアップされません。 ■ 記録を除去したい場合、システムメニューで RESET MAX ANGLE を選択してください。
11	<p>傾斜角メーター</p> <p>リアルタイム傾斜角を表示し、最大 69 度までとなります。</p>

12 リアルタイム傾斜角

リアルタイム傾斜角の度合いを表示し、最大 69 度までとなります。

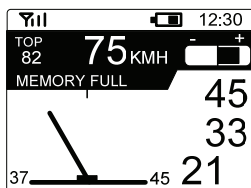
13 メッセージエリア

システムが記録モードに入れない理由を表示します。メッセージは約 2 秒間表示され、計 3 パターンのメッセージがメッセージエリアに表示されます。



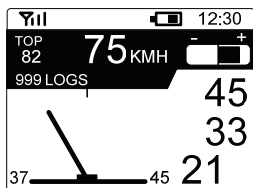
POSITIONING (位置決め中):

Select ボタンを押しても、システムが衛星を探しきれず、完全な位置決め情報を提供できない場合に表示されます。システムは位置決めするために衛星を探し続けますが、数分時間がかかる場合があります。位置決め過程において、GPS アンテナアイコンが消え、位置決めが完成すると再度出現します。アンテナアイコンが出現後、再度 Select を押すとトレースファイルの記録が開始されます。



MEMORY FULL (メモリがフル):

Select ボタンを押しても、システムメモリが満杯で記録できない場合に表示されます。この時、記録モードアイコンは表示されません。まずシステムメニューに入り、CLEAR MEMORY を選択してメモリをクリアください。



999 LOGS(999 のトレースファイル):

Select ボタンを押しても、メモリ内のトレースファイルが 999 個に達しており、システムが記録モードに入れない場合に表示されます。この時、記録モードアイコンは表示されません。まずシステムメニューに入り、CLEAR MEMORY を選択してメモリをクリアください。

14 最高時速

今回起動後、システムが感知した中での最高時速を表示します。

- 記録をリセットしたい場合、システムメニューに入り、RESET MAX ANGLE を選択ください。

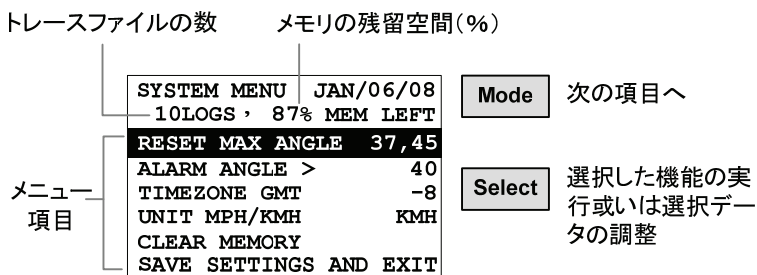
システムメニューとメッセージ画面

GMOS の設定は非常に簡単です。システムメニューに入り、モニター傍の Mode と Select ボタンを利用するだけで、以下の設定が行えます。

- 今回の起動後、システムが感知した最大左右傾斜角及び最高時速のクリア
- アラーム角度の設定
- タイムゾーンの設定
- 速度単位(キロメートルまたはマイル)の選択
- メモリ内のトレースファイルのリセット

システムメニュー

メイン画面において Mode ボタンを押すと、システムメニューに入ります。システムメニューでは、Select ボタンは該当選択項目の実行または選択データの調整を行います。Mode ボタンは該当選択項目から次の選択項目への移動を行います。



以下、システムメニュー設定のステップ及び説明です。

1 RESET MAX ANGLE (最大角度と最高時速のリセット):

- システムメニューで RESET MAX ANGLE を選択します。

- Select を押して記録をリセットします。
- Mode を押すと次の項目に移動します。

SYSTEM MENU	JAN/06/08
10LOGS	87% MEM LEFT
RESET MAX ANGLE	37,45
ALARM ANGLE >	40
TIMEZONE GMT	-8
UNIT MPH/KMH	KMH
CLEAR MEMORY	
SAVE SETTINGS AND EXIT	

Mode 次の項目へ

Select 記録のリセット

2 ALARM ANGLE > (角度アラームの設定):

- Mode を押して ALARM ANGLE > に移動します。
- Select を押して数値を調整します。Select を 1 回押すと、数字は 5 増えます。角度アラームの設定エリアは 35 から 70 までです。
- Mode を押すと次の項目に移動します。

SYSTEM MENU	JAN/06/08
10LOGS	87% MEM LEFT
RESET MAX ANGLE	37,45
ALARM ANGLE >	40
TIMEZONE GMT	-8
UNIT MPH/KMH	KMH
CLEAR MEMORY	
SAVE SETTINGS AND EXIT	

Mode 次の項目へ

Select データの調整

3 TIMEZONE GMT (タイムゾーンの設定):

- Mode を押して TIMEZONE GMT に移動します。
- Select を押して GMT との間の時差を調整します。時差は -12 から +12 までです。
- Mode を押すと次の項目に移動します。

SYSTEM MENU	JAN/06/08
10LOGS , 87% MEM LEFT	
RESET MAX ANGLE	37,45
ALARM ANGLE >	40
TIMEZONE GMT	-8
UNIT MPH/KMH	KMH
CLEAR MEMORY	
SAVE SETTINGS AND EXIT	

Mode 次の項目へ

Select 時差の調整

4 UNIT MPH/KMH (キロメートル、マイル切換):

- Mode を押して UNIT MPH/KMH に移動します。
- Select を押して速度単位をキロメートルまたはマイルに切り替えます。
- Mode を押すと次の項目に移動します。

SYSTEM MENU	JAN/06/08
10LOGS , 87% MEM LEFT	
RESET MAX ANGLE	37,45
ALARM ANGLE >	40
TIMEZONE GMT	-8
UNIT MPH/KMH	KMH
CLEAR MEMORY	
SAVE SETTINGS AND EXIT	

Mode 次の項目へ

Select 速度単位の切替

5 CLEAR MEMORY (メモリのクリア):

- Mode を押して CLEAR MEMORY に移動します。
- Select を押しメモリをクリアします。システムはクリア確認を確認します。Select を押してクリアを確定するか、Mode を押して取り消してください。
注意: クリア後、トレースファイルの数がゼロか、またメモリの残留空間が 100 かどうか、ご確認ください。
- Mode を押すと次の項目に移動します。

```

SYSTEM MENU JAN/06/08
10LOGS , 87% MEM LEFT

RESET MAX ANGLE 37,45
ALARM ANGLE > 40
TIMEZONE GMT -8
UNIT MPH/KMH KMH
CLEAR MEMORY
SAVE SETTINGS AND EXIT

```

Mode 次の項目へ

Select メモリのクリア

```

SYSTEM MENU JAN/06/08
10LOGS , 87% MEM LEFT

RESET MAX ANGLE 37,45
ALARM ANGLE > 40
TIMEZONE GMT -8
UNIT MPH/KMH KMH
CLEAR MEMORY SURE?
SAVE SETTINGS AND EXIT

```

Mode クリア

Select 確認

```

SYSTEM MENU JAN/06/08
0LOGS , 100% MEM LEFT
RESET MAX ANGLE 37,45
ALARM ANGLE > 40
TIMEZONE GMT -8
UNIT MPH/KMH KMH
CLEAR MEMORY
SAVE SETTINGS AND EXIT

```

Mode 次の項目へ

6 SAVE SETTINGS AND EXIT (設定の保存):

- Modeを押して SAVE SETTINGS AND EXIT に移動します。
- Selectを押して設定を保存し、システムメニューからメイン画面へ戻ってください。
- Modeを押すと保存が取り消され、システムメニューの第一項目へ戻ります。

```

SYSTEM MENU JAN/06/08
10LOGS , 87% MEM LEFT

RESET MAX ANGLE 37,45
ALARM ANGLE > 40
TIMEZONE GMT -8
UNIT MPH/KMH KMH
CLEAR MEMORY
SAVE SETTINGS AND EXIT

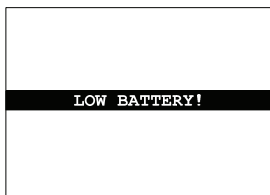
```

Mode 取り消して、第一項目へ

Select 保存設定でメイン画面へ

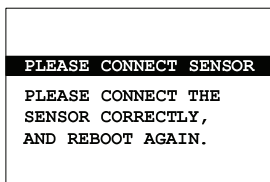
メッセージ画面

以下はユーザーにシステム情報を警告または通知するその他のシステムメッセージです。



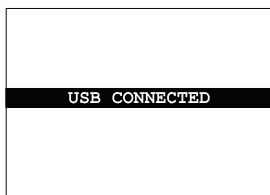
ローバッテリーアラーム:

迅速に充電または電池交換を行ってください。



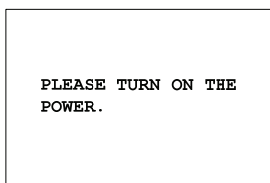
センサーを接続してください:

センサーがきちんと接続されていないか、接続されているセンサーを GMOS が許容していないことを示しています。本体の電源をオフにしてからセンサーを差し込み、再度電源を入れてください。



USB の接続に成功:

本体と PC の USB の接続に成功したことを意味します。



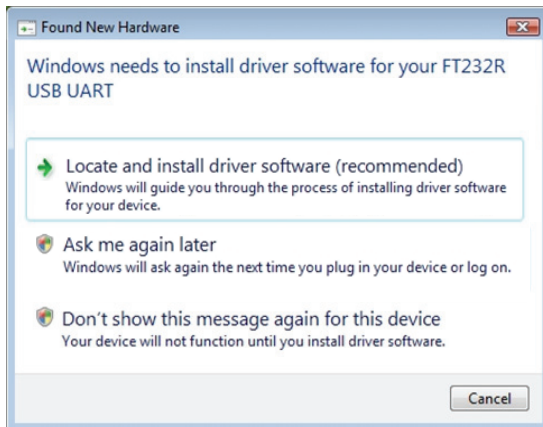
電源を入れてください:

本体が PC に接続されたものの、電源が入っていないことを意味します。

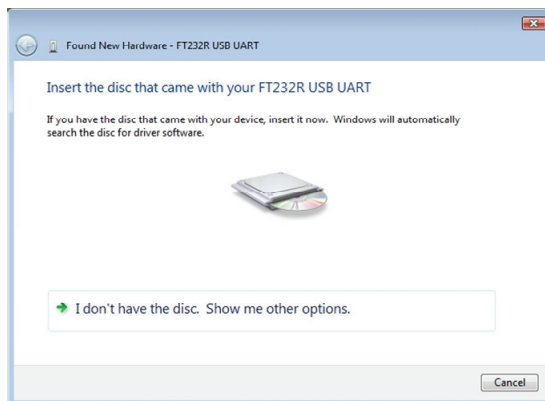
GMOS を PC に接続する

走行終了後、トレースファイルは GMOS 本体から PC にダウンロードして、分析やバーチャルレースを行うことができます。ダウンロードのステップは以下のとおりです。

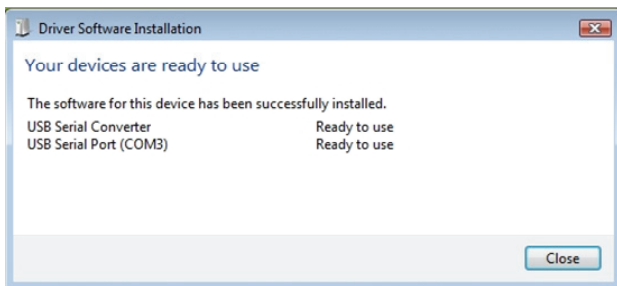
- 初めて GMOS を PC に接続させる場合、接続前にまず GMOS の電源をオフにしてください。また、GMOS VR のソフトウェアを閉じてください。
- 付属の USB ケーブルで本体と PC を接続してください。次に、GMOS 本体の電源をオンにしてください。接続に成功すると、GMOS 本体のモニターに「USB CONNECTED」(USB 接続成功)というメッセージが表示されます。
- GMOS 本体は FTDI USB チップを使用して PC と接続するため、Windows に FTDI USB ドライバがインストールされていないと、PC モニターに「新しいハードウェアを検出しました (Found New Hardware)」というダイアログが表示され、新しい FT232R USB UART のドライバをインストールするか、尋ねられます。「ドライバを検出し、インストールする (Locate and install driver software)」をクリックしてください。



内包されている CD を CD/DVD ドライブに挿入すると、Windows が自動的にドライバをインストールします。Windows が自動的にドライバを確認できない場合、ブラウザ方式で CD/DVD ドライブ及びフォルダ(FTDI USB Driver)を指定してください。



Windows がドライバのインストールを完了するまでしばらくお待ちください。



- GMOS VR アイコンをダブルクリックして、プログラムを起動させます。ファイルリストを選択し、Download (ダウンロード) をクリックすると、Connect and Download (接続及びダウンロード) ダイアログが表示されます。続いて、GMOS VR ユーザーマニュアルの説明に沿って、トレースファイルをダウンロードしてください。

3 トラブルシューティング

Q: 走行時、傾斜角メーターが動きません。

GMOS センサーがきちんと設置されているか、センサーが縦中央線に直線上或いは平行に設置されているか、GMOS と字が入っている面が必ず前方を向いているかどうかをご確認ください。

Q: 走行時、GPS 速度の読み取り数値が 0 となっています。

これは GPS シグナルの受信が悪いためです。GMOS の GPS モジュールが衛星を十分に確認できない場合、完全な位置決めデータが提供できません。GPS モジュールは衛星を探し続け、位置決めが完成すると、機能は正常に回復します。

Q: メイン画面に GPS アンテナアイコンがありません。

GPS シグナルの受信が悪いため、GMOS の GPS モジュールが衛星シグナルを十分に確認できない場合、完全な位置決めデータが提供できない場合、GPS アンテナアイコンは一時的に消えます。より多くの衛星を確認できると、位置決めが完成し、GPS アンテナアイコンが再度出現します。

また GPS アンテナを遮断し、GPS シグナルの受信不良がもたらされることを回避するために、内蔵の金属物で本体のボタンを覆わないようご注意ください。

Q: GMOS でトレースファイルが記録できません。

Select を押してファイルの記録開始後、メイン画面をご確認ください。

メッセージエリアに POSITIONING(位置決め中)、MEMORY FULL(メモリがフル)、または 999 LOGS(999 個トレースファイル)といったメッセージが出現していないか、ご確認ください。メッセージが出現していた場合、17 ページの説明をご確認ください。

Q: 定速で走行しているのに、加減速 G 値が中央線にありません。

センサーがきちんと水平に設置されているかどうか、ご確認ください。センサーが水平に設置されていないと、加減速及び角度感知の精度に影響を及ぼします。同様に、センサーがきちんと水平に設置されていないと、振動が大きく加わり、感知に影響を及ぼします。

Q: 感知の傾斜角比が実際の傾斜角より大きい/小さいのですが？

センサーがきちんと水平に設置されているかどうか、また縦中央線に直線上或いは平行に設置されているかどうか、ご確認ください。同時に環境温度が 2°C ~ 60°C (36°F ~ 140°F) 内であるかどうかご確認ください。環境温度が GMOS センサーの作動温度を超えている場合、感知の精度に影響を及ぼす可能性があります。

Q: 本体が起動しません。

電池がきちんと挿入されているか、電池の電力が十分であるか、ご確認ください。

Q: USB ケーブルで本体と PC を接続しても、本体に「USB CONNECTED」というメッセージが表示されせん。

内包の USB ケーブル(5-pin male mini-USB)を使用しているかどうか、USB ケーブルが PC と本体の USB ポートにきちんと接続されているかどうか、ご確認ください。

Q: トレースファイルを誤ってクリアしてしまいました。復元させることはできますか？

申し訳ございません。トレースファイルが一旦クリアされると、復元できません。走行後、トレースファイルを PC にダウンロードすることを忘れないでください。

4 品質保証

すべての商品には一年間の保証期間を設けております。お客様のご購入日より一年間以内に起きた故障は、下記の場合を除き無料修理いたします。

1. 商品の自然消耗・磨耗・さび・かび・むれ・腐敗・変質・変色・その他類似の事由。
2. バッテリー（電池）の交換。
3. 使用上の誤り、また不当な修理や改造による故障及び損傷。
4. 商品お買い上げ後の移動・輸送・落下による故障及び損傷。
5. 交通事故・火災・地震・落雷・塩害・ガス害・その他天災地変ならびに公害や異常電圧、その他の外部要因による故障及び損傷。
6. RMA 番号を提示されない場合。
7. 保証対象外作業した場合。
8. 保証対象外消耗品を取り替える場合。

修理を依頼されるときには、現地販売店にお問い合わせください。もし www.speedangle.com にて購入された場合は、custserv@speedangle.com に故障の状況をお知らせください、メールには GMOS 登録番号の記載をお忘れなく。GMOS 登録番号は本体裏のラベル、あるいは電源を入れた後の画面に表示されております。GMOS 登録番号は英文字一文字と7桁の数字からなっております。SpeedAngle Inc.が修理承諾後に E-mail にてお客様宛てに RMA 番号と送付ラベルをお送りいたします。RMA 番号と送付ラベルの有効期限はお客様に送付されてから30日以内とさせていただきます。

修理依頼は以下の手順でお願いいたします：

1. 包装はもとの箱あるいは破損がないようにきちんと包装してください。GMOS 及び納品書（出荷単）あるいは Paypal invoice を必ず同封すること。

2. SpeedAngle Inc.が送付した修理依頼ラベルを荷物の上に必ずお貼りください。ラベルがない場合は受け取りを拒否いたします。
3. SpeedAngle Inc.は輸送時における責任を一切負いかねます。
4. 修理後輸送費用以外に発生する費用はお客様の負担でお願いいたします。

カスタマーセンターにて、お客様の GMOS を受け取り次第、修理を進めます。修理により交換された部品は全て当社に帰属するものとさせていただきます。

修理でデータが消える可能性がありますので、GMOSを郵送される前に必ず中に入っているデータをコンピュータに移してください。当社はこれらのデータについて保証いたしかねます。

5 仕様

Dashboard Dimension:	L: 2.36" (60 mm), W: 4.33" (110 mm), H: 1" (25 mm)
Dashboard Weight	: 4.4 oz. (120g, device only)
Sensor Dimension	: H: 3.15" (80 mm), W: 1.38" (35mm), H: 0.6" (15mm)
Sensor Weight	: 1.94 oz. (55g)
Power	: 3.7V Li-Ion battery
Working Temp	: 36°F ~ 140°F (2°C ~ 60°C) guaranteed
Storage Temp	: -67°F ~ 185°F (-55°C ~ 85°C)
LCD	: 132*64 STN display
Screen Refresh Rate	: 16Hz
Interface	: USB 2.0 compatible
Battery Life Time	: 12 hrs, with backlit off and normal GPS reception
Logs	: 999 logs max
Max Log Time	: about 16 hours
Log Resolution	: 1pps
GPS Antenna	: build-in
GPS Update Rate	: 1pps
GPS Sensitivity	: -159dBm tracking
GPS Channels	: 32 all-in-view
GPS Start Time	: 36 sec average
GPS Speed	: 255 MPH max
Acceleration Range	: +/- 1G
Lean Angle range	: right/left 69 degree

設置確認リスト

センサー設置後、下記の確認リストを用いて設置に問題がないか、ご確認ください。

- センサーは振動が最も小さい場所に設置されているか？
- センサーの軸線はオートバイの縦中央線と一致しているか？またはオートバイの縦中央線と平行か？
- センサー上のバブルは水準器の中央圏内に位置しているか？
- センサーは堅く固定されているか？

機能及び仕様は予告なしに変更する場合があります。

最新版のマニュアルは弊社サイト www.speedangle.com まで。

Copyright © 2010 SpeedAngle Inc. All rights reserved